

修士論文（要旨）

2019年7月

ライティングセンターにおける利用者の意識調査  
ー外国人留学生への PAC 分析の結果からー

指導 齋藤 伸子 教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

217J3902

王 ジュンジュン

Master's Thesis (Abstract)

July 2019

PAC Analysis of Foreign Students' Attitudes towards Writing Center Tutorial  
Sessions

Junjun Wang

217J3902

Master's Program in Japanese Language Education

Graduate School of Language Education

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Nobuko Saito

## 目次

第 1 章	はじめに	1
1.1	研究背景	1
1.2	研究目的	3
第 2 章	先行研究	4
2.1	大学ライティングセンターの概要	4
2.1.1	アメリカの事例	4
2.1.2	日本の事例	5
2.1.3	A 大学の例	6
2.2	外国人留学生利用者の調査事例	7
2.3	「自立した書き手」	9
2.4	PAC 分析による意識調査	10
第 3 章	調査概要	12
3.1	調査方法	12
3.2	調査協力者のプロフィール	13
3.3	調査の手順	13
第 4 章	分析結果	16
4.1	利用者 A の分析結果	16
4.1.1	利用者 A によるクラスターの解釈	17
4.1.2	稿者による総合的解釈	19
4.2	利用者 B の分析結果	21
4.2.1	利用者 B によるクラスターの解釈	22
4.2.2	稿者による総合的解釈	25
第 5 章	考察	27
第 6 章	おわりに	34
	参考文献	I

近年、日本の大学における学生のライティング支援の新しい形態として、ライティングセンターへの関心が高まっている。ライティングセンターとは、正規授業外で学生の文章作成の支援を行う機関であり、通常チューター（ティーチングアシスタント）が書き手と一対一のやりとり（セッション）を行う。ライティングセンターの理念は、“producing better writers, not better writing”（書かれたものをよくするのではなく、書き手を育てる）（North, 1984, p. 438）である。さらに、佐渡島（2009, p.12）はライティングセンターの理念を「自立した書き手を育てる」、「書く過程」を支援する、「専門領域を横断する独自の領域」として「書くこと」を支援するという三点にまとめた。しかし、稿者はチューターを務めた経験から、ライティングセンターは「自立した書き手」を育てているのか疑問に思った。利用者が書き手として自立しているかどうかを知るためには、利用者がどのような意識を持っているか、または、ライティングセンターをどう捉えているのかを解明する必要があると稿者は考えた。そこで本研究は、ライティングセンターを繰り返し利用する日本語を第二言語とする学習者が、ライティングセンターについてどのような意識を形成しているかを考察することを目的にした。具体的には以下 3 つの研究目的を明らかにすることにした。

1. 利用者は、セッション中どのような要素に注意を向けているか。
2. 利用者は、文章作成にライティングセンターをどのように位置づけているか。
3. 利用者は自立しているか。自立しているのならどのように自立しているか。

「自立した書き手」について、本研究は「独りになったときに自分の文章の問題点が診断でき、どのようにしたらよりよい文章になるのかの方策を立てられる」ことと定義する。また、ドイル他（2013）で挙げられた「自分で気がつく」「自分を知る」「読み手の意識を持つ」という3つの項目も参考した。

研究は外国人留学生利用者 2 名の意識を、PAC（Personal Attitude Construct：個人別態度構造）分析（内藤 1997）の手法を用いて詳しく分析した。利用者別に二つのデンドログラムを作成し、デンドログラムに連想項目を記入したものを互いに見ながら、それぞれ 2 回のインタビューを実施した。

分析の結果、研究目的 1 の「利用者はセッション中どのような要素に注意を向けているか」については、利用者によって重要だと捉えている要素に異なりがあるものの、2 名とも、セッション中<チューターとのやりとり><書き手としての自分><文章>という三つの要素に注意を向けていたことがわかった。

研究目的 2 の「利用者は文章作成にライティングセンターをどのように位置づけているか」については、2 名は、ライティングセンターを「眼下の文章課題だけに注目する場」、「読み手を意識する場」、「リラックスできる環境に満足できる場」、「問題点を気づかせる場」、「添削に頼る場」と捉えていたことがわかった。

研究目的 3 の「利用者は自立しているか、自立しているのならどのように自立しているか」については、両者とも文章作成の過程にドイル他（2013）で挙げられた「自分で気

がつく」「自分を知る」「読み手の意識を持つ」においてそれぞれある程度自立した部分が見られたが、ライティングセンターを離れて独りになったときにも「自立」を保てるとは言えない部分もあることがわかった。

本研究には限界もある。チューターの理念と指導スタイルが利用者の意識に大きく関わっている可能性があると考えられるが、それについて論じていないため、利用者の意識に見られた違いとの関係が不明である。

今後の課題は、利用者の意識に見られた違いがチューターに影響されるものかどうかを明らかにすることである。そのためには、チューターの意識も分析することが必要である。さらに、利用者の意識が実際のセッションにおいてはどのように具現化されているのか、その意識にチューターがどう対応するのも検討したい。

## 参考文献

- 石原宏(2006)「統計的研究と個」河合俊雄・岩宮恵子(編)『心の科学 新・臨床心理学入門』日本評論社, pp. 122-126
- 太田裕子・佐渡島紗織(2012)『「自立した書き手」を育成するライティング・センターのチューター研修とチューターの意識：早稲田大学における実践事例とPAC分析』Waseda global forum (9), pp. 237-277
- 佐渡島紗織(2005)『大学における「書くこと」の支援：早稲田大学国際教養学部における「ライティング・センター」の発足』全国大学国語教育学会発表要旨集(109), pp. 193-196
- 佐渡島紗織(2009)「自立した書き手を育てる—対話による書き直し—」『国語科教育』第66集, 全国大学国語教育学会, pp. 11-18
- 實平雅夫(2012)「日本語日本文化教育におけるライティングセンターに関する一考察」神戸大学留学生センター紀要 / 神戸大学留学生センター 編, 18, pp. 37-50
- 鈴木美穂・帆足哲哉(2016)「玉川大学ラーニング・コモンズにおけるアカデミック・スキルズの学修支援— サポート・デスクでの1年半の活動・支援状況を視座として—」玉川大学学術研究所紀要 第22号, pp. 1-11
- ドイル綾子・大森優・秋田美帆(2013)『日本語学習者の「書く」プロセスにおいてライティング・センターが果たす役割とは何か』2013年WEB版『日本語教育実践研究フォーラム報告』<http://www.nkg.or.jp/jissensha/hokoku>
- 内藤哲雄(1997)「PAC分析の適用範囲と実施法」『信州大学人文学部人文科学論集<人間情報学科編>』, pp.51-87
- 内藤哲雄(2002)『PAC分析実施法入門 [改訂版] 「個」を科学する新技法への招待』ナカニシヤ出版
- 中島梓・鹿島萌子(2016)「立命館大学におけるライティング・サポート・デスクの理念と実践 — チューターの立場から振り返って —」立命館高等教育研究 16号, pp.101-116
- 中野玲子・阪口毅(2018)『中央大学ライティング・ラボ 2017年度後期活動報告書』[https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/learning\\_space/writinglab/](https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/learning_space/writinglab/)
- 西浦真喜子・小林至道・毛利美穂(2016)「ライティングセンターの利用のきっかけと継続的な利用の関連についての量的分析」『第22回大学教育研究フォーラム発表論文集』 pp.60-61
- 保田幸子・王沁雪(2016)「外国語による作文において学習者は訂正フィードバックをど

のように利用しているか -学習者意識と作文修正過程の調査を通して-」海外日本語教育研究 第3号, pp.49-71

吉田弘子・Scott Johnston・Steve Cornwell (2010)「大学ライティングセンターに関する考察 その役割と目的」大阪経大論集・第61巻第3号, pp.99-109

North, S. M. (1984). The idea of a writing center. College English, 46(5), pp. 433-446

#### 参考HP

Writing Center Concept by Muriel Harris

<http://writingcenters.org/writing-center-concept-by-muriel-harris/> (2019年7月29日閲覧)

青山学院大学 アカデミックライティングセンター

<https://www.agulin.aoyama.ac.jp/writingcenter/> (2019年7月29日閲覧)

津田塾大学 ライティングセンター

<https://twc.tsuda.ac.jp/index.html> (2019年7月29日閲覧)

ライティングセンター | 広島大学

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc> (2019年7月29日閲覧)

龍谷大学ライティングセンターオフィシャルサイト

<https://www.ryukoku.ac.jp/writingcenter/index.html> (2019年7月29日閲覧)